

商船学校寮歌

白菊の歌

不思議と謎

東E13 佐藤勝二郎

東N13 福谷恒男

(ご参考)

福谷恒男氏は同期生で、大学卒業後大島商船
高専で教職にあった人。

<自己紹介>



定年退職後、現在に至るまで「明治丸」のボランティアガイドを行っている。



平成29年 海王祭 寮歌斉唱



平成30年 海王祭 寮歌斉唱

合同曲

- ・ Sailing, Sailing
- ・ ああ月明は

階別グループ曲

- ・ 白菊の歌
- ・ 練習船の歌
- ・ 商船校の生徒にゃ
- ・ 清水みなど

◎◎◎◎◎

新入寮生への寮歌指導

海洋会ボランティアクラブ事務局長 松崎 光男(東船大N13)

昨年、初めて、海王寮での新入寮生の寮歌斉唱に向けた寮歌指導を行ったが、今年も、海王寮実行委員会、寮務委員会からの要請に基づき、寮歌指導を行ったので報告する。

毎年、海洋会ボランティアクラブは、海王寮(学生寮)に際して、「明治丸」や「百周年記念資料館」の案内ボランティアをとおして、協力活動を行っており、「百周年記念資料館」前のステージで新入寮生が歌う「あま月明は…」等を聴く度に、何とか寮歌を「歌」として継承させたいと考えていたところ、昨年、機会を得て、現役学生との交流が始まった。

今年も、海王寮実行委員会、寮務委員会と連携して、「85周年記念会館」において5月14日、21日、28日と3回に亘って寮歌指導を行った。

各回とも新入寮生50数名、ボランティアメンバー5～7名出席の下、海王寮で斉唱する課題曲、6曲を練習した。

海王寮では、新入寮生が4つのグループに分かれて、それぞれの課題曲1曲と各グループ共通の課題曲2曲を斉唱し、寮務委員委員会が採点して賞金を獲得するコンパ形式となっている。課題曲は昨年と同じ曲であり、当然、昨年の海王寮を経験した先輩寮生が指導して事前に練習を積んでいるものと思っただけだが、期待は見事に裏切られ、グループ毎に練習の成果を試聴したと



海王寮での新入寮生による寮歌斉唱



新入寮生への寮歌指導

ころ、おまそ寮歌というには私的なメロディーを、自信の無さそうな軽い声で歌うのを聴いて、一体、昨年の指導は何だったのか?と考えさせられた次第。

大学統合により、東京商船大学は東京海洋大学と名実ともに変換し、全寮制が廃止され、学生寮は越中島、品川西キャンパスに通う学生共通の寮となり、男・女寮生が居住し、食堂は無く、個室化され、飲酒も禁止となっており、寮生は往時の寮とは全く異なる寮生活をしている。

このような状況下で、伝統ある「寮歌」を継承させていくことの難しさを痛感しながら、気を取り直して全3回の指導、練習の結果、何とか聞けるまでになり、海王寮の当日を迎えたが、当日は思いにくく雨で、講堂にての披露となった。結果として、室内での演奏となり、野外ステージよりは声量が落ちたが、一部の曲を除いて「寮歌」らしく聞くことができたと思っっている。

昨年と同様、練習の最終日5月28日には、海洋会のご支援を頂き、ボランティアメンバー全寮生に開んで「打上げおむすびパーティー」を行い、

現役学生との親交を深めることができた。「寮歌」を歌い継ごうとする学生がいて、先輩から奨励に学ばうとする気概がある限り、上手、下手はともかくも、「寮歌」は歌い継がれていくものと確信した次第である。

2016.5.25

